

HB-style

2010 年
11 月号
Vol. 21



HB-style

Vol. 21 11 月号

The Society for Synchrotron Tennis of HiSOR

スポーツの秋。テニスサークルが発足した。サークル代表の羽瀨さんにお話を聞きました。

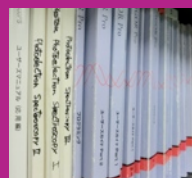
ページ 2



光物性研究室の紹介

研究室選びに迷っている学部生諸君。光物性研究室は面白いところだよ♪

ページ 3



光物性研究室カレンダー

物理科学科ソフトボール大会を主催し、大いに笑い合った11月。卒論・修論発表会に向けて実験が本格的に。

ページ 4

The Society for Synchrotron Tennis of HiSOR



サークル代表の羽瀨隆文さんにお話を伺いました。

ー 結成のきっかけは？

高校ではテニス部に所属して放課後は毎日ボールを追いかけていました。しかし進学後は、研究室や実験室に閉じこもって研究ばかりしていました。そんなある時、実験中に無意識にペンをラケットに見立て、素振りをしている自分に気づきました。これは禁断症状なのかもしれない…。早急にテニスをする環境を作らなければいけない、そう決心しました。

それからは早かったです。研究室のメンバーには硬式・軟式テニス経験者が多く、また、日々の運動不足を自覚している人も多かった。声をかけたその週の内に第1回のテニス会が開催されました。

ー どのような活動をしているのですか？

活動内容に決まったメニューは存在しません。初心者・経験者に関係なく、思い思いにボールを打ち合っ

ています。通例として、最後にダブルスのゲームをすることが多いです。好プレー、珍プレーが入り乱れた、明るく盛り上がる展開がよく見られます。

ー 上達するコツはありますか？

必ずしもテニスの上達を目標とする必要はありません。メンバーと楽しく和気あいあい運動することが重要で、それが本サークルのテーマです。プレーでミスをしなくても全く問題ありません。気軽に楽しみましょう。

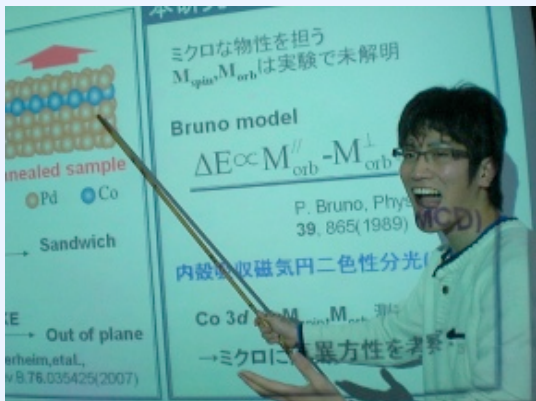
ー 今後の活動予定は？

今後も不定期ですが、月一回のペースで活動して行きたいと思います。また、テニス意外にも、フットサルといった他のスポーツに挑戦することも考えています。興味のある方は先生や学生の区別なく声をかけて下さい。



光物性研究室の紹介

研究室選びが本格化する2月に向けて、**光物性研究室**を「学ぶ」「遊ぶ」「食す」「志す」で紹介する。さあ、研究を始めよう！



学ぶ

我々は広島大学放射光科学研究センター (HiSOR) を利用して、学部4年次から最先端の物性研究に取り組みます。当研究室の特徴は、プレゼンテーション能力の養成に力を入れている所です。得られた結果は国内外の学会で発表し広く意見交換します。学期中は、毎週セミナーが開かれ論文紹介や輪読から物理を学びます。



食す

当研究室は上下分け隔てない研究室で、食事会（飲み会）も頻繁にあります。費用を抑えるために自分たちでクッキング。七夕やメンバーの誕生日などきっかけは様々です。すぐに打ち解けること間違いなし。



遊ぶ

当研究室は文武両道を目指す研究室で、研究も遊びも一生懸命。毎年夏には県外へ合宿に出かけ、ゼミと観光を楽しみます。物理科学科のソフトボール大会へも参加しており、木村准教授を中心に毎回優勝争いをする強豪チームです。



志す

当研究室は最大の特徴は、博士課程後期進学者が他に比べて圧倒的に多いことです。学生の自主性のもと研究を進め、日々切磋琢磨する環境にあります。卒業生には研究者となられた方や有名企業に就職された方など様々で、研究室で身に付けた論理的な考え方はどの分野でも必ず役に立ちます。

研究室を見学してみませんか？詳しくは当研究室 HP にて。 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/srphys/index.html>

2010年11月 光物性研究室カレンダー

11.22 (月) 高温超伝導体で電子と格子振動が強く結合する仕組みを解明

当研究室の井野明洋助教と安齋太陽、東京大学大学院理学系研究科の藤森淳教授、内田慎一教授らを中心とする研究グループは、広島大学放射光科学研究センターの高輝度シンクロトロン放射光を用いて、世界最高水準の高分解能・角度分解光電子分光実験を行い、高温超伝導体で電子と格子振動が強く結合する仕組みを明らかにしました。本成果は、より高温での超伝導を達成するための大きな手がかりとして、グリーン・イノベーションの突破口を担うことが期待されます。

詳細 HP : http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/9542/dir_id/0



11.28 (日) 物理科学科ソフトボール大会



晴天に恵まれた11月28日(日)、広島大学西グラウンドにて物理科学科ソフトボール大会が開催された。本大会を主催したのは光物性研究室。4年生の市来、福井、前川、岡本が団結して大会運営に当たり、開会から閉会まで滞りなく進行した。光物性研究室は「宮本 Japan」のチーム名で試合に臨んだ。

予選リーグ。打線がつながり全勝で決勝トーナメントへ進出。決勝トーナメント一回戦。勝ち残ったチームだけあって互いの守備は固く、得点のないまま最終回へと突入した。最終回の表、宮本 Japan の打線がつながり5得点を挙げ歓喜に沸いた。しかしその裏。相手チームの猛攻から逆転を許し敗北。悔いの残る試合だったが、光物性研究室一同、大会運営から試合まで笑顔で取り組んだ一日であった。



編集部からのお知らせ

スタッフ募集

HB-style 企画・編集に参加していただける方を募集しています。

企画の募集

取り上げてほしい企画やテーマを募集しています。気軽にお寄せください。

今後の企画について

「光物性 OB / OG 訪問」、
「HiSOR II 計画の現状」、
「Igor」、「光物性七不思議」、
「教えて！中島先生!!」などのトピックを考えています。

発行予定について

毎月の発行を予定していますが、作者の都合により遅延、または休刊となる場合があります。ご了承ください。

企画・編集：安齋太陽(写真中)
編集協力：古本一仁(右)、黒田健太(左)

